

作目名	ミニバラ（ポットローズ）
-----	--------------

作型名	施設周年栽培
-----	--------

月 旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		品種
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
施設 周年出荷	<p><挿し木～摘心直前></p> <p><摘心～出荷></p> <p>==== 暖房 ==== ////////////// 遮光 //////////////////////</p>																							四季咲き ミニチュ ア系品種	
	<p><挿し木～露地越冬> (つる系アレンジメント) (ブッシュ系)</p> <p><摘心～出荷></p> <p>==== 暖房 ==== ////////////// 遮光 ////////////////////// ← 露地越冬 →</p>																								一季咲き ミニチュ ア系品種
	<p>○ 挿し木 × 摘心 ■ 出荷</p>																								

○技術体系設定の前提条件

(1) 対象地域

岐阜地域、西濃地域、中濃地域の平坦部

(2) 立地条件

①気象条件

最適な夜温は18℃以上なので、冬季に温暖な地域に適する。また冬期日照の多い地域に適する。

②ほ場条件

加温温室の施設と設備は必須である。温室には遮光用のかんれい紗と不織布カーテンが必須。栽培ベンチ要（エプアンドフロー）。

③栽植株数（10a当たり）

93,600鉢（10.5cm鉢基準、ムービングベンチ等使用により温室利用率80%、年間3作）

(3) 目標収量（10a当たり）

89,000鉢

○施肥基準

(1) 施肥基準量 (千鉢当たり・kg)

< 養液循環する場合 >

施肥成分	総量	基肥	追肥
窒素	0.13	0.13	—
りん酸	0.16	0.16	—
加里	0.10	0.10	—

< 養液循環しない場合 >

施肥成分	総量	基肥	追肥
窒素	0.31	0.26	0.05
りん酸	0.37	0.32	0.05
加里	0.25	0.20	0.05

< 養液の処方 >

多量要素	園試処方 (3/4)	愛知花研バラ処方 (meq/ℓ)	
	(meq/ℓ)	冬処方	夏処方
NO ₃ ⁻	12.0	11.0	12.0
NH ₄ ⁺	1.0	2.0	1.1
PO ₄ ³⁻	3.0	3.5	3.5
K ⁺	6.0	4.5	5.0
Ca ²⁺	6.0	6.5	7.0
Mg ²⁺	3.0	2.0	2.0
SO ₄ ²⁻	3.0	2.0	2.0

微量元素	園試処方	愛知花研 バラ処方
	(mg/ℓ)	(mg/ℓ)
Fe ³⁺	3.0	2.0
MnO ₄ ⁻	0.50	0.50
BO ₃ ³⁻	0.50	0.25
Zn ²⁺	0.05	0.20
Cu ²⁺	0.02	0.05
MoO ₄ ²⁻	0.01	0.05

【施肥設計及び施肥上の注意事項】

- 1 底面給水による場合、置肥からの成分溶出にばらつきが出るので、1～2週に1回上面散水を行うこと。
- 2 養液循環する場合のECの目安は、高温期0.8～1.0mS/cm、低温期 1.2～1.5mS/cmとする。処方は園試処方を基本とする。